

指宿J.C

【鹿児島県】

南薩摩から発信し続ける 篤姫のゆかりの地 我が郷土「指宿」

2008年、NHK大河ドラマは篤姫に決定。昨年の夏このニュースが流れてから私達の町指宿は、篤姫一色といっても過言ではないでしょう。

指宿は篤姫が幼少期を過ごし、篤姫の「思い出の地」として全国にあらためて発信できる機会を頂きました。指宿はご存知の通り温泉の町です。なかでも砂むし温泉は有名で全国に知られるところ。町の基幹産業は観光で昭和40年代は東洋のハワイとして知られ、新婚旅行のメッカでした。

その観光で沸き立つ昭和48年（社）指宿青年会議所は全国555番目のLOMとして設立されました。今年度創立35周年を迎えます。しかしながら、設立当初の指宿

は観光産業へ陰りが見え始めた時期に差し掛かっていました。「どげんかせんといかん」（東国原知事も言っていますが、指宿の方言でもあります）と20名の若者が立ち上がり指宿青年会議所を創りました。

先輩達の数ある功績の中でご紹介したいのが、昨年で第22回を迎えたトライアスロン大会ではないでしょうか。先輩達の数ある功績の中でご紹介したいのが、昨年で第22回を迎えたトライアスロン大会ではないで

しょうか。発案から全ての大会運営を青年会議所の当時のメンバーで行いました。もちろん行政を動かし、市民を巻き込み、まさしく私たち後輩が青年会議所運動を展開するなかでお手本となる事業でした。当時の理事長の池水昭彦先輩は3年後TOYPを受賞し、私達後輩の励みでありました。

また、同じスポーツイベントの指宿菜の花マラソンも今年で27回目を数え、多くの青年会議所経験者が携わり大会が作られました。第1回の大会参加者はわずか306名。そして今年度は1万6000名を超え、全国の屈指の市民マラソンとして定着しています。毎年のリピーターも多く、おもてなしの心が通う大会としても知られるところです。現在でも大会の随所にJ.Cで培った経験が活かされ現役・シニア関係なく全てのメンバーが運営からボランティア

アにと至る所で活躍しております。どちらも、指宿にとってなくてはならないイベントに育ち市民からも愛され、指宿の観光及び産業に大きな一助になっていきます。あえて数ある事業の中で二つの事業を紹介させて頂きました。それは指宿青年会議所の歴史とともに、そして現役とシニアのメンバーの協力の中で生まれ、継続されていく誇り高き事業として。

現在、指宿青年会議所シニアクラブの会員も71名、多くの会員が指宿の主要なところで活躍しております。青年会議所で学んだ理念や運動を新たな活動の場で活かし、それを後輩たちへ繋いでいく。常に現役の応援団としてのシニアクラブであり続けたいと思います。

日本J.Cシニア・クラブ
鹿児島ブロック担当幹事 米永貞嗣



第27回菜の花マラソンボランティア



新年度総会



現役・シニアクラブ「若い我等」斉唱



現役・シニアクラブ合同新年会